

あなたのご支援が、
世界11の国・地域の
人々の暮らしを支えます



カンボジア

農業研修による
農家の生計改善



ラオス

森林保全
持続的農業



南アフリカ

HIVエイズと
生きる人々をサポート



タイ

日・タイ若手農家交流



ヨリア

日朝韓の子どもたちの
絵画交流



アフガニスタン

地域教育
平和構築



スーダン／南スーダン

給水支援
子どもの教育支援



パレスチナ

子どもを守る栄養研修



イラク

平和や「共生」を
テーマにしたワークショップ



調査研究・提言

現場の声を社会へ

毎月
500円
から

無理のない
金額を自由に
設定できます。

定期 自動引落で定期的に
ご支援いただく方法もございます。

JVCマンスリー募金

毎月500円から、募金額を自由に設定
できます。クレジットカード決済はホーム
ページから。確定申告で税の控除
を受けることができます。

詳細・お申込みは、
別添のチラシをご覧ください。

JVCは認定NPO法人です。ご寄付は税金の控除を受けることができます。

JVCの発行する領収証を添付して確定申告をすることで、以下の優遇が受けられます。
マンスリー募金を含め、JVCへのご寄付は全て対象となります。

① (寄付金額 - 2,000円) × 40%

東京都・神奈川県にお住まいの方は地方税も控除の対象です。

② (寄付金額 - 2,000円) × 10% (※)

例 東京都台東区在住の方が10,000円寄付した場合

① 所得税の控除 (10,000円 - 2,000円) × 40% = 3,200円

② 地方税の控除 (10,000円 - 2,000円) × 10% = 800円

→ 4,000円が還付されます。

ご不明な点はお近くの税務署、またはJVC経理担当へお問い合わせください。寄付者名簿を所轄庁に提出する場
合がございます。名簿への掲載を希望されない場合はJVCまでご連絡ください。

JVCへの募金をご希望の金額でいくらからでも受け付けています。

郵便振込	クレジットカード	マンスリー募金
口座名「JVC東京事務所」 00190-9-27495	JVCのホームページからVISA またはMasterカードで募金 していただけます。	月々500円から気軽に始 められる自動引き落とし型 募金です。

寄付先の国を指定する場合は振込用紙の通信欄にご記入ください。
※寄付金の20%は運営管理費に充てさせていただきます。

ご遺産からの寄付

ご自身の遺産、またご家族からの相続財産を国際協力に役立てたいとお申し出くださる方が増
えています。尊いお気持ちを、JVCが世界各地での支援に責任をもって役立てていきます。
JVCは認定NPO法人のため、JVCへの寄付は相続税の優遇の対象となります。



特定非営利活動法人

日本国際ボランティアセンター

JVC 東京事務所

〒110-8605 東京都台東区上野5-3-4 クリエイティブOne秋葉原ビル6F

TEL 03-3834-2388 FAX 03-3835-0519

E-mail info@ngo-jvc.net ウェブサイト https://www.ngo-jvc.net



Facebook
NGOJVC



twitter
@ngo_jvc

あなたの支援で、未来が変わる。
夏の募金にぜひご協力ください。



スーダン／南スーダン

JVCが支援した学校で。
恥ずかしがりながら
笑顔をもてくれる子どもたち

特定非営利活動法人

日本国際ボランティアセンター



「多様性を認めあう社会」に向けて、 平和を求める人々とともに

スーダン／南スーダン

今年4月11日、スーダンでは30年に渡る独裁政権が倒れ、軍によるクーデターが報じられました。しかし、歴史的な政変をもたらしたのは、デモによる平和的な抗議を続け、前政権の負の遺産である国内紛争の解決や、あらゆる差別の解消などを求めて立ち上がった人々です。

JVCの活動地はスーダンの最も南に位置する南コルドファン州。ここにはヌバ山地と呼ばれ、民族、文化、宗教、言語などの面で多様性を持つ地域があります。しかし、政治や経済の中心から遠い存在として周縁化され、彼らの多様性は否定されてきました。南スーダンとの国境に面し、もともと南北内戦の影響を受けていた地域でしたが、南スーダンが独立した2011年に内戦が勃発し、多くの人が住んでいる土地・暮らしを捨てて逃げざるを得ず、数十万人もの人々が難民、避難民となったとされています。避難民のアブドラさんは、「和平が来たら、元の村で遊牧民の生活に戻りたい。今は子どもが学校に行っているの、学校のない元の村には戻れない」と言います。

私たちは紛争の影響を受ける子どもたちが、教育の機会を失わないよう、学校建設などの支援を続けています。一日も早く和平が訪れ、人々が元の暮らしに戻れることを願ってやみません。多様性を許容しあえる社会づくりの一助となるよう、私たちは活動を続けています。



小学校の開校式で。甘える娘を愛おしそうに抱き寄せる



小林麗子

JVC スーダン／南スーダン事業担当

大学卒業後、一般企業に就職。人種・民族問題への関心から、退職し社会学修士課程へ進学する。2005年に他のNGOで財務会計担当の職に就き、念願の国際協力に携わるようになる。2015年7月から現職。紛争などによって難民・避難民となった方々に、外部者として、どのように関わり寄り添うことができるのか、学び考えながら支援活動に関わりたいたいと考えている。

アフガニスタン



村の女性の識字教室。教育が平和を築くための力となる

教育の機会を奪われてしまった人たちに
文字の読み書きができる喜びを

約1,000円で

紛争の影響で教育を受けられなかった
村人たち2人が識字教室で教材を使って
学ぶことができます。

スーダン／南スーダン



JVCの活動のもと就学した子どもたち

難民キャンプで暮らす
保護者のいない子どもたちに寄り添う

約1万円で

南スーダンのスーダン難民キャンプで、
紛争により親を亡くしたり生き別れたりした
子ども5人に、スクールバッグやノートなど
1年分の学用品を支援できます。

南アフリカ



子どもケアセンターに通うマーティン君と
菜園づくりトレーナーのフローレンスさん

未来を担う若者たちが
健やかに成長できるように

約3,000円で

親のいない子どものケアサポートを行う
母親ボランティア4人が食べものをつくるための
菜園づくり研修を1カ月受けられます。

カンボジア



2018年度に掘削したため池と、喜びに沸く周辺に住む皆さん

経済成長の影に隠れた農村に、
水の心配をしなくてすむ暮らしを

約30万円で

水不足が深刻な農村で、雨季に水を溜める
「ため池」をひとつ掘削し、
乾期にも野菜づくりを続けられる環境を
サポートすることができます。